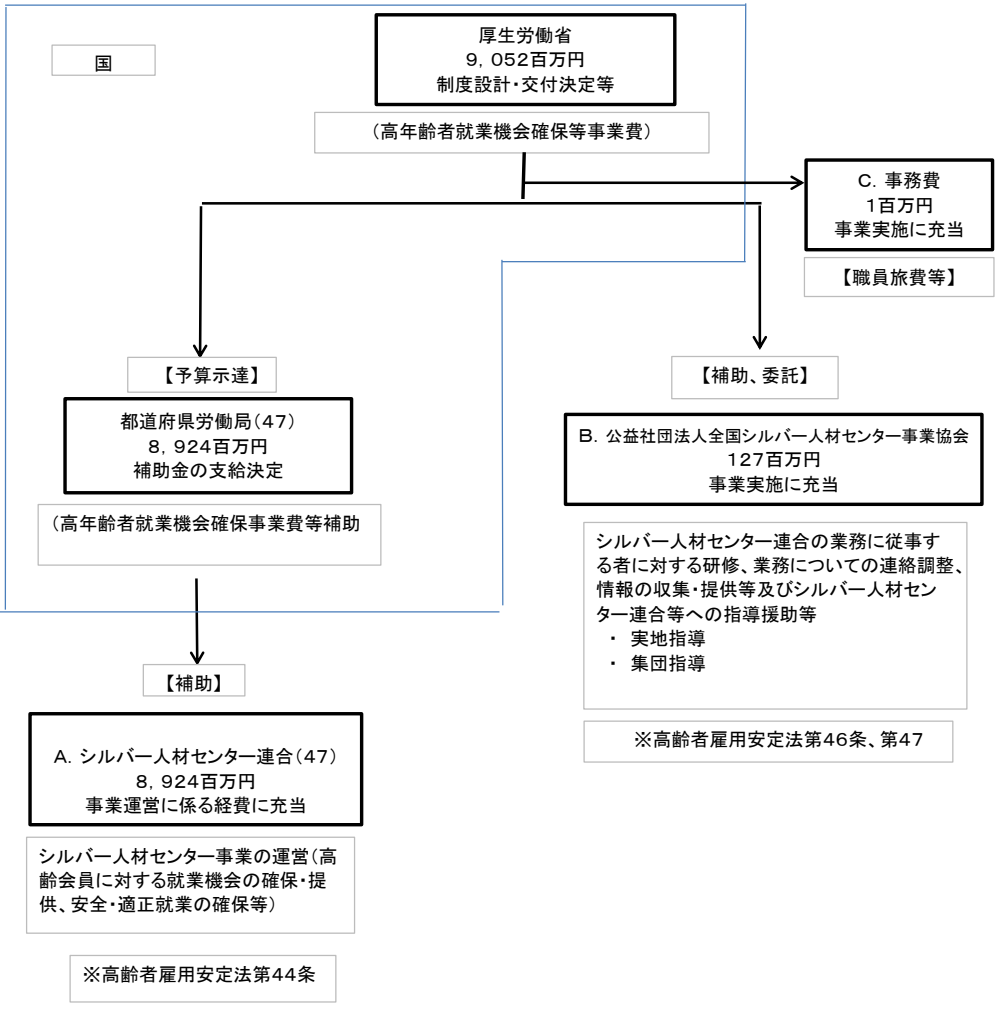


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	高齢者就業機会確保等事業費	担当部署	職業安定局高齢・障害者雇用対策部	作成責任者	高齢者雇用事業室長 上田 国土			
事業開始・終了(予定)年度	昭和55年度(開始)・終了年度未定	担当課室	高齢者雇用事業室					
会計区分	一般会計	施策名	II-1-3 高齢者、障害者、若年者等労働者の特性に応じ、就労支援や失業の防止を図る					
根拠法令(具体的な条項も記載)	高齢者等の雇用の安定等に関する法律第40条から第48条	関係する計画、通知等	高齢者等職業安定対策基本方針(平成21年4月1日付厚生労働省告示第252号)、高齢者就業機会確保事業(公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会)の実施について					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	定年退職後等の高齢者の多様な就業のニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した臨時的かつ短期的又は軽易な就業機会を確保・提供し、併せて高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進による地域社会の活性化を図ることを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	<p>高齢者等の雇用の安定等に関する法律(以下「高齢法」という。)第44条に基づき、都道府県知事の指定を受けたシルバー人材センター連合の運営に必要な経費について地方公共団体の補助金額を上限として補助する。さらに、シルバー人材センター事業の健全な発展を図るとともに、適正な運営の確保等を目的として高齢法第46条に基づき厚生労働大臣の指定を受けた法人(全国シルバー人材センター事業協会)に対する補助(補助率1/2相当)を行う。また、シルバー人材センター事業の適正な運営を図るため、シルバー人材センター連合の管理運営等に関する実地指導、相談援助等を実施することにより、高齢者の就業機会の確保などに資するものである。</p> <p>※平成23年度執行額については、現時点での暫定値であり、確定精算後変更となる場合もあり得る。</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	13,690	11,501	9,197	9,235	8,942	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	13,690	11,501	9,197	9,235	8,942	
		執行額	12,923	11,399	9,052			
	執行率(%)	94.4%	99.1%	98.4%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	就業率80%	成果実績	%	81	81.7	82	80	
		達成度	%	101.3%	102.1%	102.5%		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	会員数	活動実績(当初見込み)	人	791,859	786,906(791,859)	762,038(786,906)	—(762,038)	
	訪問個別指導(シルバー人材センター連合本部)	活動実績(当初見込み)	団体	16	16(16)	16(16)	—(16)	
	就業延人員数	活動実績(当初見込み)	人日	70,332,510	70,406,549(70,332,510)	69,481,844(70,406,549)	—(69,481,844)	
	契約金額	活動実績(当初見込み)	千円	306,969,576	306,633,429(306,969,576)	301,683,544(306,633,429)	—(301,683,544)	
単位当たりコスト	130.3 (円/人日)		算出根拠	補助金執行額(23年度実績)/就業延人員数(23年度実績) 9,052,308,358円/69,481,844人日				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	都道府県シルバー人材センター連合運営費	8,323	7,275	運営費補助の効率化したことによる減。				
	企画提案方式による事業	753	755					
	シルバー人材センター事業機能強化推進事業	0	760	新規計上したことによる増				
	全国シルバー人材センター事業協会に対する補助	65	58	補助の効率化したことによる減				
	高齢者就業機会確保事業指導費	94	94					
	計	9,235	8,942					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	昨今、高齢者の就業意欲が向上してきており、高齢者の就業機会の提供に貢献している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	高齢法第5条により、「高齢者等の意欲及び能力に応じた雇用の機会その他の多様な就業の機会の確保等を図るために必要な施策を総合的に推進するように努めるものとする」と規定されており、国と地方自治体で連携して推進していくものである。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	昨年度に比べコストは減少しており、水準は妥当と考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	当室において、交付申請書等を確認の上、交付決定、確定を行っており、合理的な内容になっている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	交付申請書等を事業の趣旨に照らして妥当なものかどうか確認し、交付決定、確定精算を行っており、事業目的に沿った支出となっているか精査している。
活動実績・成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	成果実績は目標を達成しているため。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	目標数を達成しているため、見込みどおりの結果が出ている。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>定期的に連絡会議を開催し、事務の進捗状況等について把握するとともに必要な指導を行っているところである。 また、提出された精算報告書によりその内容を確認するとともに、経費の妥当性などについても是正を行っているところである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>高齢者就業機会確保等事業費は概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p><実施日> 平成21年11月13日 <事業番号/事業名> 2-22/シルバー人材センター援助事業 <結果> 予算要求の縮減(1/3程度を縮減) <とりまとめコメント> ・予算要求の1/3程度を縮減する。 ・全国シルバー人材センター事業協会を廃止するという意見もあったので、ぜひ検討いただきたい。 ・昭和55年度から長く続いてきた事業で、1/2の補助が非常に大きな既得権益になっているという問題点がある。 ・民業圧迫の実態調査を直ちに行うべきとの意見も出されているので、ぜひ取り組んでいただきたい。</p> <p><実施日> 平成22年11月15日 <事業番号/事業名> A-4/シルバー人材センター援助事業 <結果> 事業仕分け第1弾の評価結果の確実な実施 第1弾評価結果: 予算要求の縮減(1/3程度を縮減) <とりまとめコメント> ・事業仕分け第1弾の評価結果を確実に実施していただきたいという評価結果とする。 ・多くの評価者からあったように、「会員いじめ」をまったく考えておらず、あくまで間接コスト、人件費に着目すべき。 ・各都道府県のシルバー人材連合、各地域のシルバー人材センターにおける間接コストの削減努力が不十分である。 ・全国シルバー人材センター事業協会については、役割は終えている。廃止の方向だという意見も何名かの評価者からいただいた。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	359,938	平成23年行政事業レビュー	326,810



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)
 (単位：百万円)

シルバー人材センター事業の運営(高齢会員に対する就業機会の確保・提供、安全・適正就業の確保等)

A.公益財団法人東京しごと財団			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
運営費	職員基本給等	506			
計		506	計		0
B.公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	指導に係る委託事業費	77			
人件費	職員基本給、社会保険料等	28			
一般運営費	光熱水料、賃借料等	9			
情報提供費	ソフト改善費、システム運用費等	7			
連絡調整費	旅費、通信運搬費等	5			
研修経費	旅費、会場借料等	1			
計		127	計		0
C.事務費			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事務費	職員旅費等	1			
計		1	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目と
 使途の双方で実
 情が分かるよう
 に記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人東京しごと財団	シルバー人材センター事業の運営	506		
2	財団法人いきいき埼玉	シルバー人材センター事業の運営	490		
3	公益社団法人愛知県シルバー人材センター連合会	シルバー人材センター事業の運営	468		
4	公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会	シルバー人材センター事業の運営	383		
5	公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会	シルバー人材センター事業の運営	379		
6	公益社団法人大阪府シルバー人材センター協議会	シルバー人材センター事業の運営	368		
7	公益社団法人静岡県シルバー人材センター連合会	シルバー人材センター事業の運営	301		
8	社団法人北海道シルバー人材センター連合会	シルバー人材センター事業の運営	281		
9	公益社団法人茨城県シルバー人材センター連合会	シルバー人材センター事業の運営	274		
10	公益社団法人千葉県シルバー人材センター連合会	シルバー人材センター事業の運営	272		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会	シルバー人材センター連合の管理運営等に関する実地指導等	77	随意契約	
2	公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会	シルバー人材センター連合の業務に従事する者に対する研修、業務についての連絡調整、情報の収集・提供等	50		